

2020 M1

医療・福祉現場でのふれあい等
(早期体験学習 Early Exposure)

オリエンテーション資料
コースガイド

2020年4月～2020年8月
2020度入学 第47回生用
筑波大学 医学群 医学類

目 次

1. 医療・福祉現場でのふれあい等（早期体験学習）について

医療・福祉現場でのふれあい等 の概要	1
スケジュール及び課題	3
実習用グループ別名簿	4
病院実習における必要な態度	5
コース Coordinator : 大原 信 (医学医療系)、斎藤 環 (医学医療系)	
ユニット#1 医療・福祉現場でのふれあい	7
サブユニット#1 附属病院ふれあい実習 (筑波大学附属病院)	
Coordinator : 柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵 (医学医療系)	
サブユニット#2 福祉施設等でのふれあい実習 (学外福祉施設等)	
Coordinator : 柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵 (医学医療系)	
サブユニット#3 外来新患エスコート実習 (筑波大学附属病院)	
Coordinator : 木村 友和 (医学医療系)	
ユニット#2 病院見学実習	15
(筑波大学附属病院)	
Coordinator : 大原 信 (医学医療系)	
ユニット#3 コミュニケーション実習	17
Coordinator : 前野 哲博 (医学医療系)	
ユニット#4 リハビリテーション部、救急実習	19
サブユニット#1 リハビリテーション部実習 (筑波大学附属病院)	
Coordinator : 羽田 康司 (医学医療系)	
サブユニット#2 救急実習 (学群棟 3階 4A303)	
Coordinator : 井上 貴昭、河野 了 (医学医療系)	
ユニット#5 高齢者/妊婦模擬体験実習	21
(4B棟(看護・医療科学類)2階 203)	
Coordinator : 前野 貴美 (医学医療系)	
ユニット#6 研究室紹介	22
(共同利用棟 B2階講義室1)	
Coordinator : 佐藤 豊実 (医学医療系)	
病院建物配置図、外来案内	23・24

【1】 医療・福祉現場でのふれあい等

(早期体験学習 Early Exposure)

コース Coordinator : 大原 信・斎藤 環

1. 概要

医学を学び始めるにあたり、医学・医療の一部に触れその目指す方向を垣間見ることで、医学への学習意欲を高める。

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーには関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

社会人としての一般教養・常識を身につけ、その場にふさわしいマナーに則った行動ができる。研究倫理・医療倫理の原則を述べることができる。(レベル1)

豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示すことができる。(レベル1)

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に関する、国内外の問題点を挙げるができる。(レベル1)

・コミュニケーション

患者および家族の立場に立ち、その思いや、心理社会的背景を考慮することができる。コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。インフォームドコンセントの重要性を理解できる。(レベル1)

グループ学習において、グループメンバーの考えを聞き、自分の意見を述べるができる。

保健、医療、福祉の現場でケアに関わる職種を挙げるができる。(レベル1)

・医療の社会性

保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職について理解できる。(レベル1)

地域医療の特徴や問題点について考察することができる。(レベル1)

3. 到達目標

- 1) 看護師の視点から入院患者の生活を述べられる。
- 2) 福祉施設、医療施設それぞれの働きを自分の言葉で述べられる。
- 3) 医療機関に働く各職種の人々に出会い、各職種の仕事内容の概要を述べられる。
- 4) コミュニケーションの成り立ちを理解して、医療面接における医師患者関係の構築できる医師になるために、必要な要素を述べられる。
- 5) BLS (Basic Life Support) をすすんで行える。
- 6) 高齢者／妊婦の人々の身体的条件を述べられる。
- 7) 外来患者の視点で大学病院の外来診療を述べられる。
- 8) 医学研究者に出会い、研究の意義や楽しさを述べられる。

4. 学習方法

(下記は例年のふれあい実習の実施内容です。今年度は異なる点があるので、各実習項目のページもよく確認すること。)

ユニット# 1

- 1) 病棟で看護師や入院患者と接する実習をする。
- 2) 夏休みの2日間学外の福祉施設、保健施設、医療施設を訪問し実習する。
- 3) 夏休み大学病院外来で初診患者に付き添いその受診全てに付き合う実習を行う。

ユニット# 2

- 4) 医事課、リネンサプライ／ランドリー、材料部／滅菌、厨房、リハビリ、臨床医療管理、医療情報、感染管理室、医療福祉支援センター、などを周り現場の人から話を聴いて話す。

ユニット# 3

5) 患者とのコミュニケーション実習を SP (Simulated Patient) の参加のもとで行う。

ユニット# 4

6) リハビリテーション部にてスタッフの説明を聞く。

7) トレーナーを用いて BLS (Basic Life Support) を実習する。

ユニット# 5

8) 高齢者/妊婦疑似体験用装具を用い実習する。

ユニット# 6

9) 基礎医学研究室、社会医学研究室、臨床医学研究室からの研究者の話を聴いて話す。

5. 早期体験学習時の服装、髪型などの注意点

若い医学生ですが、社会、特に患者さんから見たら立派な社会人であることを忘れてはなりません。皆さんの学習に協力してもらうことに報いるには、服装、髪型などに気を配るべきです。自分の好みを通すのではなく、周りの目から見て社会人としてごく普通であるようにということです。

また、言葉遣いや接しかたにも気を配るべきで、これらが医師としての大切な基本となってゆきます。具体的には、

- ・髪型：清潔で見苦しくないこと（極端な長髪や奇抜なヘアスタイル、不潔な印象を与えるものを避ける）。
 - ・服装：清潔でこざっぱりとしていること（ファッショナブル過ぎたり、不潔な印象や奇抜なものを避ける）。
 - ・靴：ヒールが低く、音のしないものが望まれる。
 - ・言葉：丁寧な言葉遣いでゆっくりと話すこと。
 - ・態度：学生ではなく、社会人としてふさわしい態度で接すること。
- など、詳細は次頁の記載を熟読の上、実習に参加すること。

6. 評価

レポートなどにより総合的に評価する。レポート提出期日・提出場所を守らない、医学生として望ましくないと判断された場合、D判定となり単位を取得できない場合がある。

(ふれあい実習は進級における単位取得必須科目である)。

2020年度 医療・福祉現場でのふれあい等 スケジュール

実施時期：春ABモジュール 火曜日 5～7時、春Cモジュール 火、水、金曜日

※下記スケジュールを、実習ごとの課題に取り組む時期の目安とし、最終締め切りに余裕を持って提出するようにしてください。

週	月 日	第1グループ		第2グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1	4月28日	附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2				高齢者/妊婦模擬体験	研究室紹介	
2	5月12日	附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	リハビリテーション・救急実習		高齢者/妊婦模擬体験		研究室紹介	
3	5月19日	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習			高齢者/妊婦模擬体験
4	5月26日	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	リハビリテーション・救急実習		高齢者/妊婦模擬体験	
5	6月2日		高齢者/妊婦模擬体験	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習	
6	6月9日	高齢者/妊婦模擬体験		研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	リハビリテーション・救急実習	
7	6月16日	コミュニケーション実習			高齢者/妊婦模擬体験	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2
8	6月23日	リハビリテーション・救急実習		高齢者/妊婦模擬体験		研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1
9	6月30日	見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習		コミュニケーション実習	高齢者/妊婦模擬体験	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(1)	
10	7月7日	見学実習2	見学実習1	リハビリテーション・救急実習		高齢者/妊婦模擬体験	コミュニケーション実習	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習(2)	
11	春Cモジュール期間中福祉現場等でのふれあい実習外来新患エスコート実習:										

各実習課題・提出期限（課題や提出期限は、各実習の説明ページも参照すること）

実習名	課題	課題提出最終期限※
#1-1 附属病院ふれあい実習	#1-1, #1-2 共通課題： manaba でのレポート提出	後日提示
#1-2 附属病院ふれあい実習		
#1-3 外来新患エスコート実習	#1-3, #2, #5 共通課題： manaba でのレポート提出	7月14日
#2 病院見学実習		
#3 コミュニケーション実習	manaba での動画視聴後レポート提出	7月14日
#4-1 リハビリテーション部実習	レポート提出	7月14日
#4-2 救急実習	後日提示	後日提示
#5 高齢者/妊婦模擬体験実習	#1-3, #2, #5 共通課題： manaba でのレポート提出	7月14日
#6 研究室紹介	動画を2週分視聴後、レポート提出	7月14日

実習用グループ名簿

病院実習における必要な態度

1. 服装・身だしなみ

- 原則として、患者さんや医療スタッフに不快感を与えない、社会人として常識的な服装であること。身勝手な自己の判断基準は認められない。
- 通常の白衣を着る場合、男性は、襟のあるシャツ(白い色または淡い色で、柄のないものまたは薄い柄)で、基本的にはネクタイ着用。シャツの下に色が透けて見えるような派手な色のTシャツや下着は着ないこと。白衣のボタンをきちんと締めて、名札をつけること。
- ケーシー型の白衣の場合、下に色が透けて見えるような派手な色のTシャツや下着は着ないこと。肩のボタンをきちんと締めて着ること。
- ズボン、紺やベージュ系のものを推奨、ベルトで腰できちんと締める。ジーンズは認められない。
- 髪は、不潔でないようにすること、長髪はきちんとまとめておくこと、一般社会人として非常識な染色は認められない。特に、手術室などに入室する場合には、髪の清潔さは重要である。
- アクセサリーは、基本的には必要ないものである。ピアスも含め、控えめにすること。なお、耳たぶ以外の場所のピアス、男性のピアスは、常識の範囲ではないと考えておくこと。
- 華美な化粧は必要ないほか、香水は基本的につけてはならない。
- 特に、女子学生の場合、胸が大きく開いたブラウスやノースリーブなど、肌の露出が大きい服装については、十分に注意をすること。スカートは、丈が短すぎるもの・長すぎるものは着用しない。
- 靴は、清潔なもので、靴下を履くこと。素足に下駄、サンダル、スリッパ、ハイヒール、ミュール等は認められない。
- 個別に服装についての指示があった場合は、それに従うこと。

2. 言動

- 廊下、エレベーターは患者さんを優先すること
- 廊下を横に並んで歩かない。
- 私語は慎む。(特に患者さんの前では緊張感をもつ)
- 実習中に見聞きして得た患者情報を他人に話さない。SNS等には書き込まない。
- 実習先の教職員に先ずあいさつをする
- 実習中は携帯電話・スマートフォン等の電源はOFFにする。使用については病院のルールを守ること。(参考:「院内のスマートフォン・携帯電話等の利用について」12ページ掲載)
- 実習に必要な荷物は持ち込まないこと

3. 心構え

- 気持ちは医師に準ずる(社会人の)つもりで
- 集合時間は厳守。遅刻をしない(集合場所は前もって確認を)
- 病院は患者さんには治療の場であり、教職員には職場です。周りを不愉快な気持ちにさせない様、気を配って下さい。
- 遅刻、欠席する場合は早めに連絡する。(附属病院実習の際の病棟の電話番号は実習名簿に掲載)

院内のスマートフォン・携帯電話等の利用について

附属病院執行部会議承認

基本方針

従来の使用可能区域の設定を改め、院内使用禁止区域ならびにマナー区域を定め、その他の場所での使用は原則認めるものとする。但し、使用においては、利用者の契約回線を使用し、院内全域において、写真・動画撮影並びに歩行中の使用は禁止とする。

1. 使用禁止区域の設定

医療機器等と電波干渉を生じる可能性があるため、患者安全の観点より下記のエリアは使用禁止とする。

第一手術室	OPE room 内
第二手術室	OPE room 内
血管造影室	造影室内 (除くコントロール室)
放射線治療	照射室内 (除くコントロール室)
CT/MRI	検査室内 (除くコントロール室)
単純レントゲン	撮影室内 (除くコントロール室)
内視鏡室	処置室内処置台周辺
救急外来	初療オープンスペース・手術室内・血管造影室内
ICU	病室内 (除くステーション・通路)
HCU	病室内 (除くステーション・通路)
NICU	病室内 (除くステーション・通路)
GCU	病室内 (除くステーション・通路)
分娩室	分娩台周辺

2. マナー区域の設定

患者のプライバシー保持・療養環境維持の観点より下記のエリアでは出来るだけ通話はお控えいただく。

各病棟	多床病室内・廊下。消灯時間後は全域。
外来待合スペース	全域 (外待ち・中待ち)
各外来ブース内	診察室・処置室内
検査室待合	生理検査・内視鏡検査・採血室
放射線待合	単純・CT・MRI 等
外来化学療法室	点滴処置スペース・待合
外来中央受付	会計窓口周辺

ユニット# 1 医療・福祉現場でのふれあい

Coordinator : 柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵 (医学医療系)

サブユニット# 1 附属病院ふれあい実習

Coordinator : 柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵 (医学医療系)

今年度の実施方法：

1. 動画視聴により、医療や介護を必要とする当事者の語りにふれてください。
具体的な方法は、manabaを確認すること。
2. manaba でアンケート（レポート）に回答してください。自動ログオフにより入力内容が消去されることがあるため、こまめに保存する、文書作成ソフトウェアから内容を貼り付ける等、注意すること。また、剽窃などの不正行為を行わないこと。
3. 下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

医療を必要とする当事者とふれあい、当事者の視点を通して、医療の現状と課題を認識する。

2. Objectives

- 1) 生活環境としての病棟を理解する。
- 2) 患者さんが社会的背景を持つことを知る。
- 3) 医療が組織として行われていることを知る。

3. 実習日程

実習に関するオリエンテーションを4月7日（火）に受け、その後、各学生が2回の実習を病棟で行う。
各日とも実習は5, 6, 7限、19時15分ごろまで。

4. 実習内容

○実習1回目

15:15～ 教室（4A103）集合し、指定された病棟に移動
看護師より、病棟内構造を中心としたオリエンテーション（30分程度）
自分で病棟内を歩いてみて、住環境として病院がどのような所か、
自分の生活環境を思い浮かべて比較しながら観察、体験する。
想定していること : トイレは気持ちよく使える構造か、
病室の清潔度、広さ、プライバシーの守られ方、入浴設備の使いやすさなど
その後 病棟看護師の指示に従って実習を行う。
（～19:00）

想定されること : 食事の配膳、下膳、食事介助、食事量のチェック、
（例）患者の移送（車椅子介助）、イブニングケアなど

○実習2回目

15:15 教室（4A103）集合し、指定された病棟に移動
～18:00 前回の体験をもとに、自分でさらに体験してみたいこと、
観察したいことなどを取り入れながら、看護師の指示に従って行動する。
患者さんに話しかけ、お話をうかがうなど、意識的に関わってみる。
18:05～19:15 学生全員と教員とでカンファレンスを持ち、個々の学生の体験を交換する。
（学群棟1階4A103）、3グループに分かれて実施予定。

5. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻、欠席の場合には実習開始時間前までに病棟に連絡すること。
- 2) 動きやすい服（ズボン、スラックス、運動靴を心がける）を着用し、その上に指定のエプロンと名札を付けること。清潔で音をたてない靴を履くこと（ゴム底が望ましい）。スカート、胸元の開いた服、サンダル、つっかけ、かがむと背中が見えそうな服、はさけてください。
- 3) 病棟内には携帯電話、タブレット端末を持ち込まないこと。
- 4) 患者さんに対しては丁寧で、失礼のない言葉使いをすること。
- 5) 病棟で見聞きしたことは決して他に漏らさないこと（学生同士の話であっても、周囲で誰が聞いているか、分からない）。守秘義務があることを忘れてはならない。
- 6) 転倒したり、転落することないように、患者さんの安全には細心の注意を払うこと。
- 7) 病棟は患者さんの生活の場であることを忘れず、プライバシーを侵さないこと。
- 8) 病棟看護師の指示には従うこと。
- 9) 病棟に行ったとき、病棟から帰るとき、及びその他必要に応じて手を洗うこと。
- 10) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、病棟看護師または教員に相談すること。

6. 緊急連絡網（事故、その他）

緊急の場合には、病棟の責任者および担当教員に連絡すること。病棟に教員・ティーチングアシスタント（TA）がいない場合には連絡すること。

7. 担当教員

実習中は担当教員（柳、市川、堀、田中）と TA が巡回し、必要に応じて指導を行う。困った点、疑問な点など遠慮なく話すこと。

8. 実習記録物

実習終了後にレポートを書くこと（A4レポート用紙に2枚以上・ワープロ可）。

テーマ：「医療・福祉現場でのふれあいー附属病院実習で学んだこと」

提出：2回目の実習終了翌週の火曜日 17 時まで、エントランスホール脇レポートボックスへ。

9. 評価

評価は実習態度、提出物及び病棟側からの評価を合わせて行う。

サブユニット# 2 福祉施設等でのふれあい実習

Coordinator : 柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵（医学医療系）

今年度の実施方法：サブユニット# 1 と同じ

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

看護や介護を必要とする当事者とふれあい、個別の体験を通して、福祉の現状と課題を認識する。

2. Objectives

- 1) 地域で健康障害や加齢によって看護・介護を受けている人達の特徴を述べる。
- 2) これらの人達の視点から、健康生活の維持・増進に必要な条件を述べる。
- 3) これらの人達を取り巻く家族や社会について説明する。
- 4) 医療・福祉・行政の枠組みと連携について述べる。

- 5) 医療・福祉に関わる人達とのコミュニケーションを通して、社会における医療の位置づけについて述べる。

3. 実習日程

掲示の通り。実習のオリエンテーションは6月19日(金)17時～(仮)に実施する。学生は3班に分かれ、6月30日(火)・7月1日(水)、7日(火)・8日(水)、14日(火)・15日(水)に、各班2日間ずつ、指定の機関または施設で実習を行なう。

4. 実習内容

[訪問看護ステーションでの実習]

看護師等の家庭訪問に同行し、看護の補佐をする。

[介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、グループホームでの実習]

施設長、生活指導員または実習指導担当者の指示に従いながら、高齢者の介護を行なう。

実習内容の例：入浴介助(浴場までの誘導、衣類の着脱、浴場での入浴介助、髪を乾かす、爪切りなど)、食事介助(配膳、下膳を含む)、排泄介助(トイレまで誘導、おむつ交換)、レクリエーション指導補助、話し相手など。

デイケア部門では上記に加えて、車での送迎補助、訪問入浴など。

5. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻・欠席の際には実習開始時刻前までに実習機関または施設に連絡すること。
- 2) 指定の服装をすること。華美でなく(色に注意)機能的で見苦しくない服装を心がけ、エプロン、名札(一部縫いつけの指示あり)を忘れないこと。着替えを用意すること。靴下をはくこと。手拭きタオル等を持参すること。
- 3) 指示のある施設で実習する学生は、上履き(運動靴)を持参すること。
- 4) 昼食は施設ごとの指示に従うこと。代金はリーダーがまとめて施設に支払うこと。
- 5) 対象者に対して失礼のない言葉づかいをすること。どんな障害、認知症があっても障害者、高齢者は一人の人間である。安易におばあさん、おじいさんなどと呼ばないように。
- 6) 実習中に見聞きした事は決して他にもらさないこと(学生同士の話しでも他に誰が聞いているかわからない)。
- 7) 対象者の安全には細心の注意を払うこと。特に必要があつてベッド柵をおろした時には、必ず上げる、人を乗せて車椅子を押しているときには前に傾けない、食事介助は相手の嚥下を確認しながらペースを考えて行なうなど。
- 8) 実習場は対象者の生活の場である。騒がしくしたり、プライバシーを侵さないこと。
- 9) 介助の前後には手洗いをすること。爪は短く切り、清潔に保つこと。
- 10) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、職員、TA、教員に相談すること。
- 11) 万一事故が起こった時には実習場の責任者にすぐに連絡すること。
- 12) 体調を整えて実習に臨み、実習中に居眠り(訪問看護の行き帰りの車中も含む)などをしないよう気をつけること。
- 13) 実習中携帯電話およびタブレット端末を携帯しないこと。喫煙は、本実習中に限らずつつしむこと。
- 14) 飲食、駐車、駐輪は施設側が決めた場所のみで行うこと。
- 15) 車酔いをする者は、あらかじめ対応すること(特に訪問看護)。
- 16) 施設職員や担当者などに、きちんと挨拶すること。

6. 担当教員：柳 久子、市川 政雄、堀 愛、田中 理恵

担当教員およびティーチングアシスタント(TA)が実習施設を巡回します。疑問な点・要望は、遠慮なく話すこと。緊急連絡は、柳(携帯、PHS)まで。

7. 実習記録物

- 1) 実習中2日間の実習日誌をつけること。日誌にはその日に体験したこと、感想、疑問に思ったことなどを記録する。
- 2) 実習終了後にレポートを書くこと（A4のレポート用紙に2枚以上、ワープロ可）。テーマは「医療・福祉現場でのふれあいー学外医療福祉施設実習で学んだこと」。
- 3) 実習に関するアンケート。

以上を実習終了後、下記の締切までにエントランスホール脇レポート Box まで提出すること。
（一班は7月7日（火）、二班は7月14日（火）、三班は7月21日（火）締切）

8. 評価

評価は、実習態度、提出物および実習場側からの評価を合わせて行なう。

参考資料

筑波大学附属病院 看護単位と診療グループ

けやき棟

東 11	急性期	婦人科・腺外
西 11	急性期	放射線腫瘍科・腺外
東 10	急性期	循環器内科・循環器外科
西 10	急性期	脳神経外科・脳卒中科・救急科
東 9	急性期	呼吸器外科・耳鼻咽喉科等
西 9	急性期	泌尿器外科・歯科口腔外科・整形外科
東 8	急性期	皮膚科・形成外科・腎臓内科
西 8	急性期	消化器外科・消化器内科
東 7	急性期	眼科・血液内科
西 7	急性期	整形外科・救急科
東 6	急性期	血液内科・無菌室
西 6	急性期	小児(幼児・学童)
東 5	産科	
西 5 (MFICU)	超急性期	産科
西 5 (NICU)	超急性期	小児
西 5(GCU)	急性期	小児

B棟

801	急性期	消化器内科
701	急性期	精神神経科
601	急性期	呼吸器内科・循環器内科 等
630	急性期	神経内科・小児科・外科系小児
501	急性期	リア・睡眠・代謝内科

A棟	外来(1~3階)
C棟	化学療法(3階)
C・D・F棟	中診(1・2階)

チームナースング基本形と担当

[急性期病棟]	
【日勤】	
看護師長	
リーダー	
メンバー(AorB チーム)	
看護助手	
【夜勤】	
代行(リーダー兼務)	
リーダー	
メンバー	

筑波大学附属病院 病棟 の 流 れ

患者生活の流れ		看護活動	看護助手
0			
1		診療録整理 ナースステーション整頓 包交車整備	申し送り(3交代の場合) 業務計画、調整、分担
2			
3			
4	治療・処置		
5		検体	
6	起床	検温、血圧測定、計測 モーニングケア	モーニングケア 配膳、下膳、摂取量チェック 検査・治療患者搬送 指示票・伝票の発送
7		早期検査、術前準備 与薬	指示票・伝票の発送 中材物品返納
8	朝食	配膳、食事支援 与薬	入退院患者、転入室患者 電話・患者対応
9	治療・処置・検査	下膳、食事摂取量チェック 入退院患者指導 環境整備	清潔・洗髪ケア介助 メッセージャー対応
10		転棟 転入室患者指導 与薬	伝票類・物品の受領 環境整備 患者の搬送 ベッドメイキング
11		特殊項目	特殊項目
12	昼食	配膳、食事支援 与薬	配膳、下膳、摂取量チェック
13		下膳、食事摂取量チェック	
14	面会	検温	中材物品受領 患者搬送 清潔洗髪ケア介助
15			面会者対応 電話・患者との対応
16		検査準備 検査準備オリエンテーション 与薬	メッセージャー対応 検査準備(翌日分) (診療録整理)
17	夕食	配膳、食事支援 与薬	伝票類・物品の発受
18	治療・処置	下膳、食事摂取量チェック	ナースステーション内整理整頓 配膳、下膳、摂取量チェック
19		検温、血圧測定 イブニングケア	
20		与薬 環境整備	イブニングケア 片付け
21	就寝	消灯	
22			
23			
24			

サブユニット#3 外来新患エスコート実習

Coordinator : 木村 友和 (医学医療系)

春Cモジュール：火曜日、水曜日、金曜日

「今年度は、現在の状況を鑑みて、附属病院内でのこの実習は実施しない方針となりました。その代わり、現時点で皆さんが「患者の立場で考える理想の病院について」を課題とするレポート（レポートフォーマットを manaba からダウンロードして作成）を提出してください。細かな医療制度や法律に準拠する必要はありません。

*この課題はユニット# 2 病院見学実習、ユニット# 5 高齢者/妊婦模擬体験実習と共通となります。

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

筑波大附属病院初診患者の初診受付より会計終了までのエスコートをおこなうことができる。

2. Objectives

- 1) 患者の視点から病院外来の診療システムを述べるができる。
- 2) 患者の視点から見たときの大学病院受診のメリット・デメリットにつき述べるができる。
- 3) 一人の患者の心情を述べるができる。
- 4) 初診担当医師の患者に対する態度を見学し、医師としてあるべき態度はどのようなものか述べるができる。

3. グループ分け

学生は各回 12 名程度とする。各回 3 つのグループにわかれ各グループにリーダーを 1 名を設定する。指導教員は各グループに 1 名である。

4. 実習方法

- 1) 各回 12 名程度でおこなわれる。日程および担当教員名を確認する。
- 2) 夏休み実習のオリエンテーション時に概要が説明されるので趣旨を説明し病院の地理に通じておく。
- 3) 当日はロッカーへ荷物を置いた後に朝 8 時 15 分までに教室に集合し、担当教員より説明を受ける。必ず担当教員への連絡方法を確認する。また、グループのリーダーの学生は担当教員に自分の連絡先を伝える。
- 4) 外来受付にて、教員より新患受付中の患者の紹介をうける。
- 5) 学生は自己紹介の上、新患受付より、会計終了時あるいは病院出口、患者に役立つと思われる場合は自動車等に乗車するまで患者と行動をとる。この間必要に応じて患者の補佐をおこなう。
- 6) 患者エスコート終了後、グループ長より担当教員にその旨連絡する。
- 7) エスコート中の行動、気づいたこと、感想を本実習の SBO を念頭においてレポートにまとめ、実習日翌木曜日 17 時までにエントランスホール脇レポート Box まで提出する。

5. 注意事項

- 1) 清潔な服装・頭髪を心がけ、エプロンおよび名札着用のこと。
- 2) 患者が目上の存在であることを忘れず敬意を持って接すること。
- 3) 患者や周りの人を不愉快にさせることがないように、きちんとした態度で実習に臨むこと。
(実習中の飲食、あくび等)
- 4) 患者の同意を得て診察に立合う際には、外来担当医師に自己紹介し、立合いの是非について尋ねること。
- 5) 歩行時など患者の安全に十分注意を払うこと。高齢者は歩行速度が遅いことなどに留意し、患者に合わせた行動をとること。

- 6) 問題点が生じたときは早めに教員に連絡のこと。
- 7) エスコート中に知り得た患者個人に関する情報を他に漏らさないこと。
- 8) 遅刻・欠席の場合は必ず担当教員もしくは教務担当に連絡すること。
- 9) 病棟内で携帯電話の電源を入れないこと。
- 10) 終了時の教員への連絡を忘れないこと。

ユニット#2 病院見学実習

病院ツアー「病院の仕組みを知る」

Coordinator：大原 信 (医学医療系)

今年度は、現在の状況を鑑みて、附属病院内でのこの実習は実施しない方針となりました。その代わりに、現時点で皆さんが「患者の立場で考える理想の病院について」を課題とするレポートを提出してください。細かな医療制度や法律に準拠する必要はありません。この課題はユニット#1サブユニット#3外来新患エスコート実習および、ユニット#5高齢者/妊婦模擬体験実習と共通となります。」

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

はじめに

病院で行われる医療は医師や看護師だけの力では実行することができません。皆さんが、将来、医師として働く現場がどのような人たちによりどのように支えられているかを知ることは、医療チームをリードする医師にとって重要なことです。これら多職種の人々の役割とシステムに精通し、上手に連携することは皆さんの行おうとする医療の質を高めることに大変役立ちます。

1. Goal

病院の仕組みを理解することにより、患者中心の質の高い医療をチームで安全に行える医師になるための基本を身につける

2. Objectives

- 1) 病院の提供している各種サービスを分類して述べるができる。
- 2) 診療活動を支援している部門を列記することができる。
- 3) それぞれの部門がどのようなサービスを誰に対して提供しているかについて概略を述べるができる。
- 4) 医療現場を見ることにより、現在の問題点をいくつか数え上げられる。
- 5) チーム医療、医療連携の意義について説明できる。

3. 実習内容

集合場所：臨床講義室 B

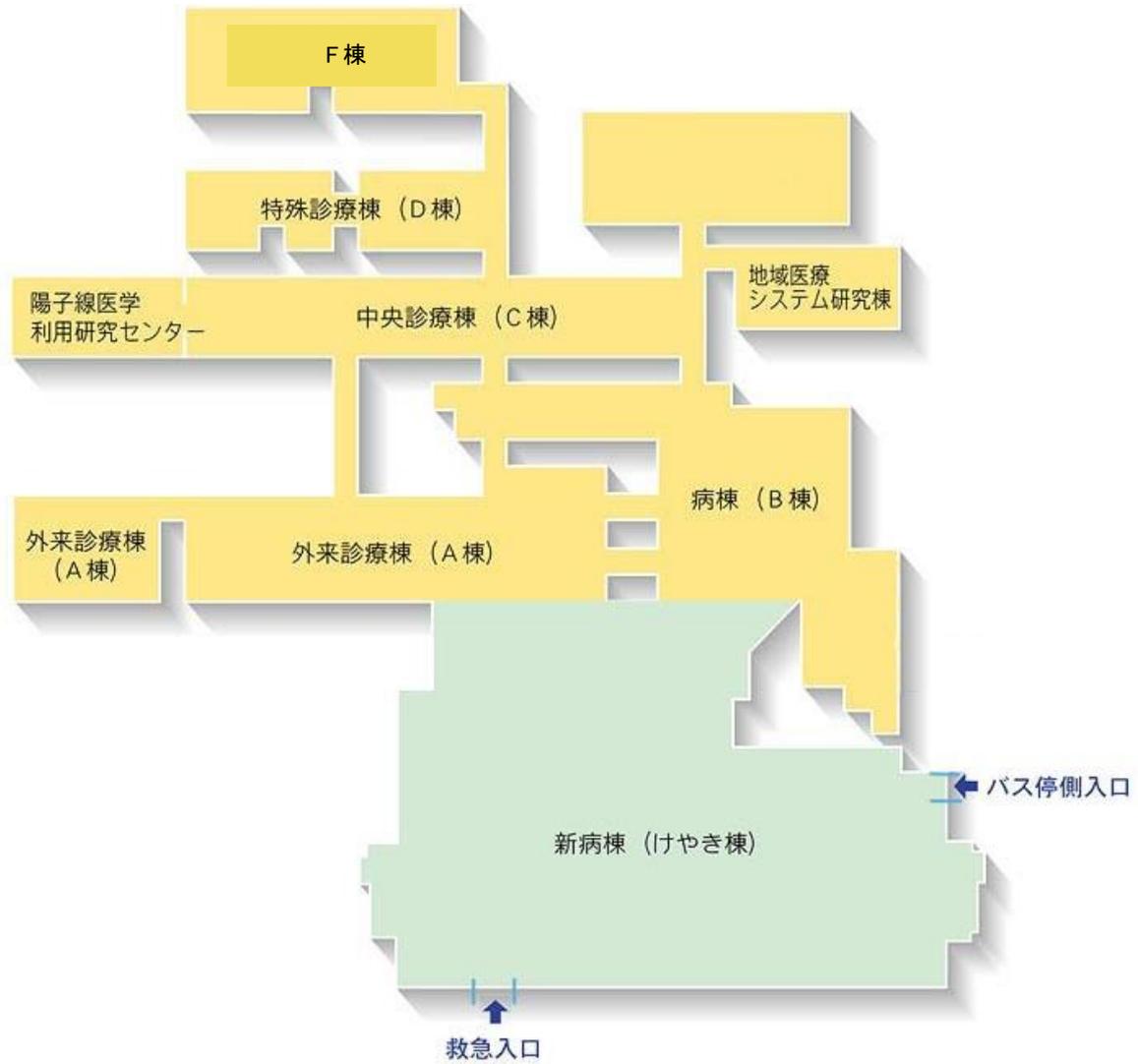
- 1) 2日間かけて、院内のバックヤード機能を担う代表的な部門を4カ所/日、診療全体を側面から支援する部門4カ所/日を順次ツアーし、その部門のスタッフとのコミュニケーションを通じて機能と役割を理解し、あわせて現場を見学することにより職場の環境について合理性や問題点を考察する(各20分程度)。
- 2) ガイド役の指導教員からは
 - ① このような病院の「パーツ」がトータルとしての病院の活動にいかに関与し、重要で不可欠か
 - ② 安全かつ快適な診療環境を実現するためにそれぞれのスタッフがどのような貢献をしているか
 - ③ 皆さんが医師として働く際これらのリソースをいかに有効に利用できるかなどにつき総括的な説明があります。
- 3) 実習中は白衣着衣と名札の着用を厳守する。白衣の下の服装も社会人として節度のあるものとする。
- 4) ツアー終了後、教室(集合場所)に一旦戻り、指定された様式のレポートをまとめ、**実習当日中にエントランスホール脇レポート Box**に提出すること。

※注意

・白衣・名札のなき者、服装が医学生の実習施設見学としてふさわしくないと判断された者は実習に参加できない場合があります。

・ツアーのため、遅刻厳禁（集合時間を守ること）。遅刻した場合、実習参加と認められない場合があります。

病院ツアーコースガイド



時間がずれる場合は移動前に次の部門に連絡をお願いいたします。

	部門			
コース1	1. 感染管理室			
	2. 栄養管理室／厨房			
	3. 物流センター			
	4. 患者サービス課			
コース2	5. 医療連携患者相談センター			
	6. 薬剤部			
	7. 医療情報経営戦略部			
	8-1 臨床医療管理部			
	8-2 病歴室			

ユニット#3 コミュニケーション実習

Coordinator : 前野哲博・堀内明由美 (医学医療系)

今年度の実施方法・課題等：オンラインレクチャーを視聴して医師患者間のコミュニケーションをテーマにした課題（レポート）に取り組んでください。

Manaba のコース内に、オンラインレクチャー（リンク先アドレス）とレポートファイル（具体的な課題がファイルに記載、ダウンロードして使用）を5月12日に掲載します。ご自身がコミュニケーション実習を履修する時期に合わせて、課題に取り組み、2週間以内を目安に manaba 上に提出してください。

1. Goal

臨床医として重要な患者－医師関係の構築について学ぶことで医学生としてのモチベーションを高めるために、模擬患者とのロールプレイを通してコミュニケーションの意義及びその重要性を理解する。

2. Objectives

- (1) コミュニケーションの構成要素と特性を理解する。
- (2) 医療面接の持つ3つの役割（患者理解の為の情報収集、信頼関係の形成、患者教育と治療への動機付け）を説明できる。
- (3) 医療面接に必要な環境整備ができる。
- (4) 良好な患者－医師関係の構築の重要性を述べる。
- (5) 自分の話し方、言葉遣い、服装などが相手にどう受け止められているか、客観的に説明できる。

3. 実習内容

集合場所 : 4A322 集合時間 : 15 : 15

(必ず、白衣と名札を着用のこと。本オリエンテーション資料を持参のこと。余分な荷物はロッカーに入れてくること。)

(1) 進め方

3～4人×7グループで実習する。

①ロールプレイ

SP（模擬患者）の方に協力いただき、学生は全員が交代で医師役となり、5分間のロールプレイを行う。ロールプレイ終了後、SPを交えてディスカッションする。

②ロールプレイ・討論の進め方

- 1) 面接5分
- 2) 振り返り（名簿の司会者が進行する）
 1. 医者役振り返り
 2. 観察者振り返り
 3. SPの感想、シナリオ開示
 4. 討論

③グループ討論、全体討論

ロールプレイ全体を通して気づいたこと、学んだことについてグループで話し合う。最後に全体討論を行う。

※SP (Simulated patient、模擬患者)

医療面接実習などにおいて模擬の患者役を演じて、医学生の教育にかかわってくれる存在である。患者・市民の立場の SP が、性格・生い立ち・生活環境などを詳しく設定した患者になりきって、ロールプレイを行う。振り返りでは、その患者として気づいたこと、感じたことを率直に医療者役にフィードバックする。

SP を用いる利点として、以下の点が挙げられる。

- ・教育の場にあわせて、繰り返して行える
- ・患者に関する議論が、患者役が参加して行うことができる
- ・本物の患者に害が及ばない

(2) タイムテーブル (実施日によって若干の変更があります)

15:15-15:35	準備・説明
15:35-15:55	ロールプレイ 1 回目
15:57-16:17	ロールプレイ 2 回目
16:17-16:25	休憩
16:25-16:45	ロールプレイ 3 回目
16:47-17:07	ロールプレイ 4 回目
17:07-17:20	グループ討論
17:20-17:35	全体発表・まとめ

(3) レポート

原則、翌週の火曜日の 17:00 までに 4A 棟 2 階エントランスホール脇 レポート Box に提出する。

ユニット#4 リハビリテーション実習、救急実習

実習方法：5時限目にリハビリテーション部実習を行い、その後、6時限目に救急実習を行う。

サブユニット#1 リハビリテーション実習

Coordinator: 羽田 康司 (医学医療系)
清水 如代 (医学医療系)

今年度の実施方法・課題等：レポート提出

内容：以下について、簡潔に述べてください。

- 1) 「病気」と「障害」の違いについて
- 2) リハビリテーション関連職種のうち、理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST) の役割の違いについて

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

患者の日常生活に生じる不自由さを視野に入れたチーム医療を指向できるようになるために、見学と体験を通じて医療におけるリハビリテーションの意義を理解する。

2. Objectives

- 1) リハビリテーション医療を担う職種を説明できる。
- 2) 日常生活における基本的な動作の不自由な状態を指摘できる。
- 3) 心身の障害を有しながら自立度を向上させる意義を述べられる。

3. 学習内容

集合場所：共同利用棟 B 2 階講義室 1 (203) 集合時間：15:15 (必ず白衣と名札を着用)

- 1) 見学：リハビリテーション部で仕事しているスタッフ (医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士) の説明を聴き、事例を通して学ぶ。
- 2) 体験：理学療法、作業療法、言語聴覚療法の体験を行う。

リハビリテーション部実習終了後、引き続き、学群棟 2 階 211 臨床技能実習室で救急部実習を行う。

サブユニット#2 救急実習

Coordinator : 井上 貴昭 (医学医療系)
河野 了 (医学医療系)

今年度の実施方法・課題等：後日提示。manabaを確認して下さい。

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

一市民あるいは臨床医として、救命救急現場において一次蘇生が実践できるようになるために、Basic Life Support (BLS) の手法について学ぶ。

2. Objectives

- 1) Basic Life Support (BLS) の意義・重要性を理解する
- 2) BLS の手技を実践する。

3. 学習内容 集合場所：学群棟 2 階 221 (7 月 7 日のみ学群棟 2 階 203)

集合時間：16:45 (必ず白衣と名札を着用)

- 1) BLS のビデオを見て、その手順を学習する。
- 2) ビデオの手順を見本にして、トレーナーで実際に BLS の実習を行う。
- 3) 1 グループ 5～6 名 × 5 グループ
- 4) 実習終了後、講義室 (4A203) に一旦戻り、指定された様式のレポートをまとめ (リハビリテーション、救急実習共に)、実習日にエントランスホール脇のレポート提出 Box に提出すること。

※服装について

実習時は動きやすい服装 (ズボン、スラックス、運動靴) を心がける。スカート、胸元の開いた服、サンダル、つっかけ、かがむと背中が見えそうな服、口紅はさけてください。

ユニット#5 高齢者/妊婦模擬体験実習

Coordinator : 前野 貴美 (医学医療系)

今年度の実施方法・課題等 : ユニット#1サブユニット#3外来スコート実習およびユニット#2病院見学実習と共通の課題に取り組んでください。「患者の立場で考える理想の病院について」を課題とするレポート : フォーマットをダウンロード)。レポート作成の際に、体調が優れない、または加齢や病気により身体が思うように動かさない方からの視点を想像しながら、課題に取り組んでください。今までの自分自身や家族のけがや病気の体験を思い出したり、書籍や映画などの登場人物の様子を参考するとよいでしょう。

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

高齢者/妊婦に体験を通して患者の視点を理解し、医療者としての態度を学ぶ。

2. Objectives

- 1) 高齢者および妊婦の身体の特徴を理解する。
- 2) 高齢者および妊婦が感じている不自由さを体験を通して理解する。
- 3) 高齢者および妊婦に対してどのような支援が必要なのかを学ぶ。
- 4) 医療者として、人として、身体が不自由な人への思いやりの心を身につける。

3. 実習方法

集合場所 : 4B棟(看護・医療科学類)2階203

集合時間 : 15:15

注意事項 : ・高齢者用・妊婦用装具を装着します。装具のマジックテープ等で衣類を傷つける可能性がありますので服装(ニット製品、ストッキング等)に注意して下さい。厚手の靴下を履いて履けるような、ゆるめの靴を履いてきて下さい(スニーカー等)
・装具を装着して大学構内での行動を体験します。貴重品等を持ち運べる大きさのバッグを用意できる人は持ってきて下さい。

- 1) 1回13~14名で実習する。

高齢者用・妊婦用装具のどちらかをグループ内でお互いに介助し合って装着する。その後、一定時間装具をつけたまま室内・室外でいろいろ行動してみる(天候により変更あり)。行動範囲は大学構内敷地内とする。

- 2) タイムテーブル

15:15-15:30 オリエンテーション、諸注意等を担当教員が行う
15:30-16:00 装具装着
16:00-17:00 実際行動
17:00-17:20 装具後片付け
17:20~ ディスカッション、まとめ

ユニット#6 研究室紹介

Coordinator : 佐藤 豊実 (医学医療系)

今年度の実施方法・課題等：毎回3グループ程度の研究紹介が実施される。実習日程表を確認し、自分のグループが実習する日のものをオンライン講義にて聴講し、指定された様式のレポートをまとめ、manabaに提出する。レポートは2週分をまとめて1枚提出する。

提出の最終期限は7月中旬となっておりますが、履修する時期に合わせて、2週間以内を目安にmanaba上に提出してください。

各日の研究室紹介は下記に記載されたものですが、変更になる場合があります。

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

筑波大学の医学系研究室で行われている最新の研究内容を知り、医学研究の面白さと多様性を理解する。

2. Objectives

- 1) どのような研究が行われているかを列挙する。
- 2) 研究室紹介の内容に関して質問する。

3. 学習方法

共同利用棟 B 2階講義室1で、毎回3~4グループに研究紹介をしていただく。

令和2年度研究室紹介日程表

実習日	グループ名	担当者
4月28日	形成外科	関堂 充
	循環生理学	小金澤禎史
5月12日	腎臓内科	臼井 丈一
	臨床薬剤学	土岐 浩介
	解剖学・神経科学	武井 陽介
5月19日	循環器内科	貞廣 威太郎
	精神神経学	井出 政行
	呼吸器科	森島 祐子
5月26日	眼科	岡本 史樹
	整形外科	國府田 正雄
	放射線腫瘍学	櫻井 英幸
6月2日	内分泌代謝・糖尿病学	島野 仁
	免疫学	渋谷 和子
	分子遺伝疫学・社会健康医学	土屋 尚之

実習日	グループ名	担当者
6月9日	分子ウイルス学	川口 敦史
	分子神経生物学	榎 正幸
	呼吸器外科	後藤 行延
6月16日	地域医療教育学	前野 哲博
	臨床試験・臨床疫学疫学	我妻 ゆき子
	福祉医療学	堀 愛
6月23日	保健医療政策学・医療経済学	大久保 麗子
	実験病理学	渡邊 幸秀
	ヘルスサービスリサーチ	田宮 菜奈子
6月30日	診断病理学	野口 雅之
	消化器内科	溝上 裕士
	循環器外科	坂本 裕昭
7月7日	環境保健学	堀 大介
	神経内科	玉岡 晃
	産婦人科	佐藤 豊実

筑波大学附属病院外来案内図



1階のご案内



2階のご案内

